



岩城少年自然の家だより

自然は友だち 青い海原 緑の山なみ

のべ利用者数（1983年6月～2025年9月） 1,147,197 名

9月の利用者数

793 名

秋田県立岩城少年自然の家
（ガンバル岩城）2025. 10. 24

企業・団体の研修の場として



「あきたアドベンチャープログラム」を活用した新任職員研修の様子

今年度、社会福祉法人秋田県厚生協会様より、「新任職員研修として、あきたアドベンチャープログラムを行いたい。」というお申し込みをいただきました。理由を伺うと、施設長曰く「職員から、『研修に導入した方がよい。』と提案された。」とのことでした。

今回の研修は、指導チームのチームリーダーが担当し、申し込み団体の担当者との対話を通じて、研修のねらいを丁寧に聞き取り、ねらいの達成にふさわしい体験プログラムを選定して、チーム内で検討した上で当日を迎えました。

当日は、施設長以下、ベテランから新任職員の方々全員で研修を行いました。研修を終えた指導チームリーダーの記録には、このような内容が記されていました。

「参加された皆さんは、全ての活動に真摯に、そして一生懸命に取り組んでおりました。参加者の皆さん方ご自身も、初めと終わりの様子を比べてみると、お互いの距離感や理解度などさまざまなことに変化を感じたのではないのでしょうか。このように『企業研修』として活用する方法もあります。」

あきたアドベンチャープログラムは、体験後の参加者の表情が別人のように明るくなります。さらに、新規採用者研修の様子を見届ける教育委員会指導主事の方々表情も変わります。本県の優れた教育プログラムが県民に広く認知されることを目指して、指導チームを中心に広報活動に取り組んでいます。

親子ふれあい事業



「ファミリー・フィッシング体験」

株式会社釣り東北社代表取締役社長伊藤克朗氏とのご縁は、今から10年以上前に遡ります。互いに共同事業を実施したいと考えており、当施設赴任後、最初に事業について相談したのが伊藤社長でした。

夏休み中に実施した「ファミリー・サップ体験」の際、参加者の方から「親子で釣りをする企画はないですか？」と聞かれ、驚きました。今、まさに本事業の募集が始まろうとしていたからです。

事業を通じて出会った働き盛り子育て世代の方々からは、なかなか広報等に目を通す余裕が無いこと、先着順の募集締め切りは申し込みが困難なことなどを聞き、設定期間内で参加者を募集し、定員を超過した際は期間終了後に抽選としました。併せて、学校や釣り東北社の協力を得て広報活動を行いました。

事業を通じて分かったことは、釣りなどの自然体験の機会を求めるご家庭が多いことです。ご家庭が求める自然体験の機会をどう提供するかは、社会教育施設の課題です。ありがたいことに、抽選の結果選外となった方から、「応援しているのでまた来年も開催してください。」という言葉いただきました。

10月4日（土）の天気は快晴。参加5家族10名の方々は殆どが初心者で、伊藤社長の指導の下、釣り東北チャンネルでライブ配信される中、初めての魚を釣り、ミニ釣り大会に参加して表彰される経験をした方もいました。自然のもつ素晴らしさと釣りの楽しさを感じていただけたのであれば幸いです。

11月の予定

受け入れ団体等

		自然散策路復活プロジェクト	
大館国際情報	4日（火）～ 5日（水）	山人楽師	16日（日）
東北若人の会	15日（土）～ 16日（日）	五誓剣伸会	22日（土）～ 23日（日）
<主催事業・出前講座>		岩谷小・大内小6年交流会	11日（火）
新山小学校（2年PTCR）	4日（火）	院内小学校（6年PTCR）	14日（金）
あきた保育園	5日（水）	科学フェスティバル	15日（土）
新山小学校（4年PTCR）	6日（木）	ウエスター	16日（日）
ファミリーキャンプ	8日（土）～ 9日（日）	西目小・中学校合同研修会	20日（木）
岩城文化祭	8日（土）	西目公民館	29日（土）

SEABASS PROJECT

Autumn edition



7月に開催したシーバスプロジェクトは、その後、参加者の方から再度の開催を望む声を多数頂戴しました。そこで前田講師と相談を重ね、10月18日（土）オータムエディションを開催しました。

今回は、少人数の釣り経験者を対象にして、子吉川で秋の川鱈を釣る実践編でした。秋の落ち鮎を捕食する川鱈を釣るには、ルアー（疑似餌）がごく自然に川面を流れる操作が必要です。この難度の高い技術を駆使して子吉川の川鱈に出会えたR様、おめでとうございます。

これからも、安全に釣りを楽しんでいただければと思います。



岩城少年自然の家だより

自然は友だち 青い海原 緑の山なみ

のべ利用者数（1983年6月～2025年9月） 1,147,197 名

9月の利用者数

793 名

秋田県立岩城少年自然の家
（ガンバル岩城）2025. 10. 24

キッズキャンプ

子どもわんぱく事業

～ とんぼと遊ぼう「とんぼ祭」～



とんぼと遊ぼう「とんぼ祭」

令和7年9月27日（土）、年長のお子さんから小学校3年生までの児童と保護者の方々を対象にして、「とんぼ祭」を開催しました。

この事業は、岩城の豊かな自然で体験できる様々な活動をととして、参加者相互の交流を図り、集団で活動することの楽しさを実感してもらいたいという思いで、担当者が計画しました。当日は、男鹿市や八郎潟町、秋田市などから、13家族、28人の参加者が岩城の森に集いました。

事業が始まると、子どもたちは初めて出会ったお友達と挨拶を交わし、親子で竹とんぼを作って実際に飛ばし、お友達とペアやトリオになって「タッグマッチ戦！」と題してアキアカネやノシメトンボを捕まえました。

参加者の方々が活動中に撮影した写真は当施設のSNSで公開され、参加者が互いの活動の様子を閲覧しました。今回の事業では、保護者と子どもたちが、岩城の森での体験活動と、SNSの両面から交流を深めました。

上段中央の写真のタイトルは「とんぼにとんぼ」です。この写真を撮影した子どもさんが名付けました。事業担当者はこの日の記録をこう結びました。

「子どもたちって凄いですね。『自然は友だち』だと教えてくれました。」

子どもたちの思い出に残る自然体験の機会を提供できたのであれば幸いです。